



中小企業へのデジタル化・DX支援事業について

東北経済連合会／東経連ビジネスセンター

2023年3月1日

東経連ビジネスセンターのご紹介

- ・東経連ビジネスセンターは、東北6県・新潟県の企業を対象に新規事業の成長を支援するため、一般社団法人東北経済連合会が域内産学官の支援機関及び金融機関に呼びかけて設立した非営利の民間支援団体
- ・「東経連ビジネスセンター」のルーツは、1995年設立の「東北ベンチャーランド協議会」に遡り、これは全国初の経済団体による新規事業の支援組織の誕生であり、現在の「東経連ビジネスセンター（2011年4月設立）」に引き継がれている
- ・2021年に「デジタル化・DX支援事業」を新たに設け、時代に応じた企業支援の活動を継続している

東経連ビジネスセンター支援事業



<https://www.tokeiren-bc.jp/>

- ・ 次世代モビリティ産業集積支援事業
- ・ マーケティング・セールス戦略支援事業
- ・ スポンサー地銀連携推進支援事業
- ・ マーケティング・セールスフォローアップ支援事業
- ・ 新事業開発・アライアンス助成事業
- ・ 産学官金サロン事業
- ・ **デジタル化・DX支援事業**
- ・ ILC、放射光・加速器産業参入支援事業
- ・ ものづくりフレンドリーバンク(MFB)推進事業(ナノテラス)

デジタル化・DX支援事業

- 目的：東北・新潟の地域企業においてデジタル技術を活用した効率化・生産性向上を進めるため、デジタル技術を持つ支援専門家が直接地域企業を支援し、地域企業の競争力強化及びデジタル産業の活性化を推進する。

■デジタル化経営者勉強会 (セミナー)

- ・対象 地域内の中堅中小の経営者
- ・方法 DX企業事例等による勉強会
- ・開催 年2回
- ・方式 現地／オンライン参加

■DX簡易コンサルティング (支援専門家派遣)

- ・対象 地域内の中堅中小企業
- ・方法 デジタル化・DXに関して広い助言
- ・費用 無料
- ・期間 3回／2～3カ月

■IT系補助事業活用

デジタル化の実現には
“補助金獲得”を支援

DX推進
システム開発

 終了

 支援中

DX計画
システム現状把握
戦略策定

全体構想
ゴールの設定
目指す姿

DX未着手企業

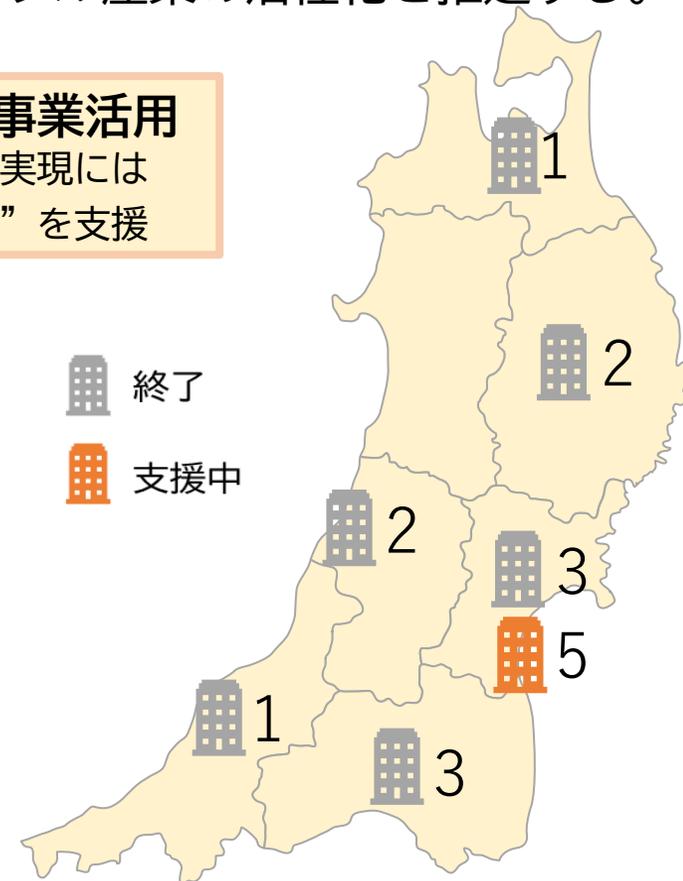
DXの理解

「DX簡易コンサルティング」の特徴

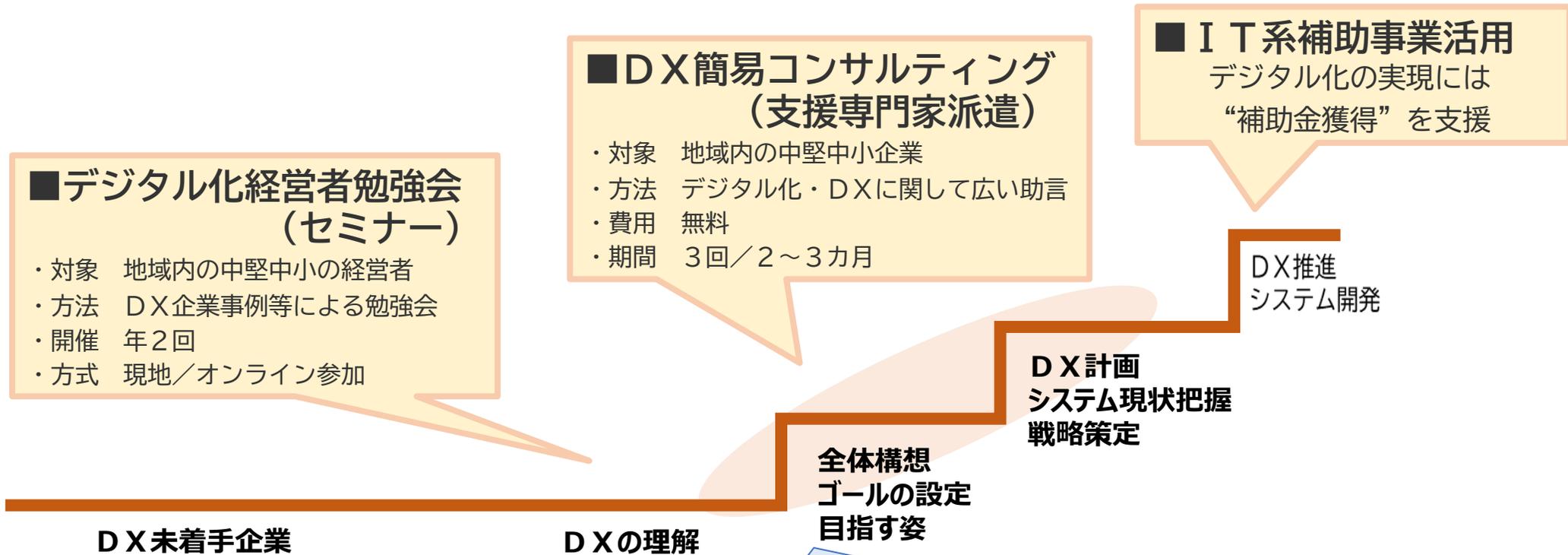
- ・簡易ではあるが**経営者に対するコンサルティング、伴走型支援**を重視
- ・デジタル知識の他、社内展開方法やベンダーコミュニケーションなどの**How-to**も

■DX簡易コンサルティング実施状況

- ・2021年度 **10**社
- ・2022年度 **7**社 支援中**5**社

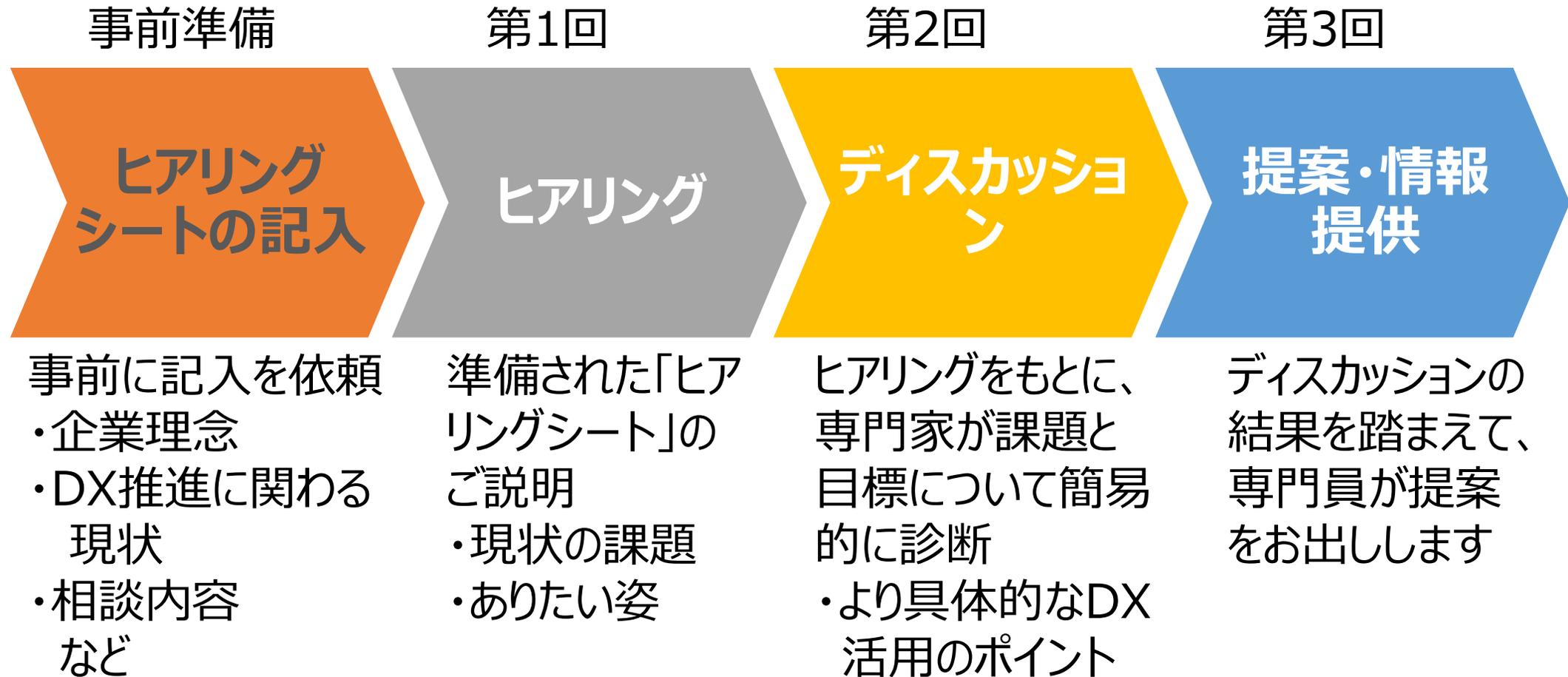


デジタル化・DX支援事業の概要

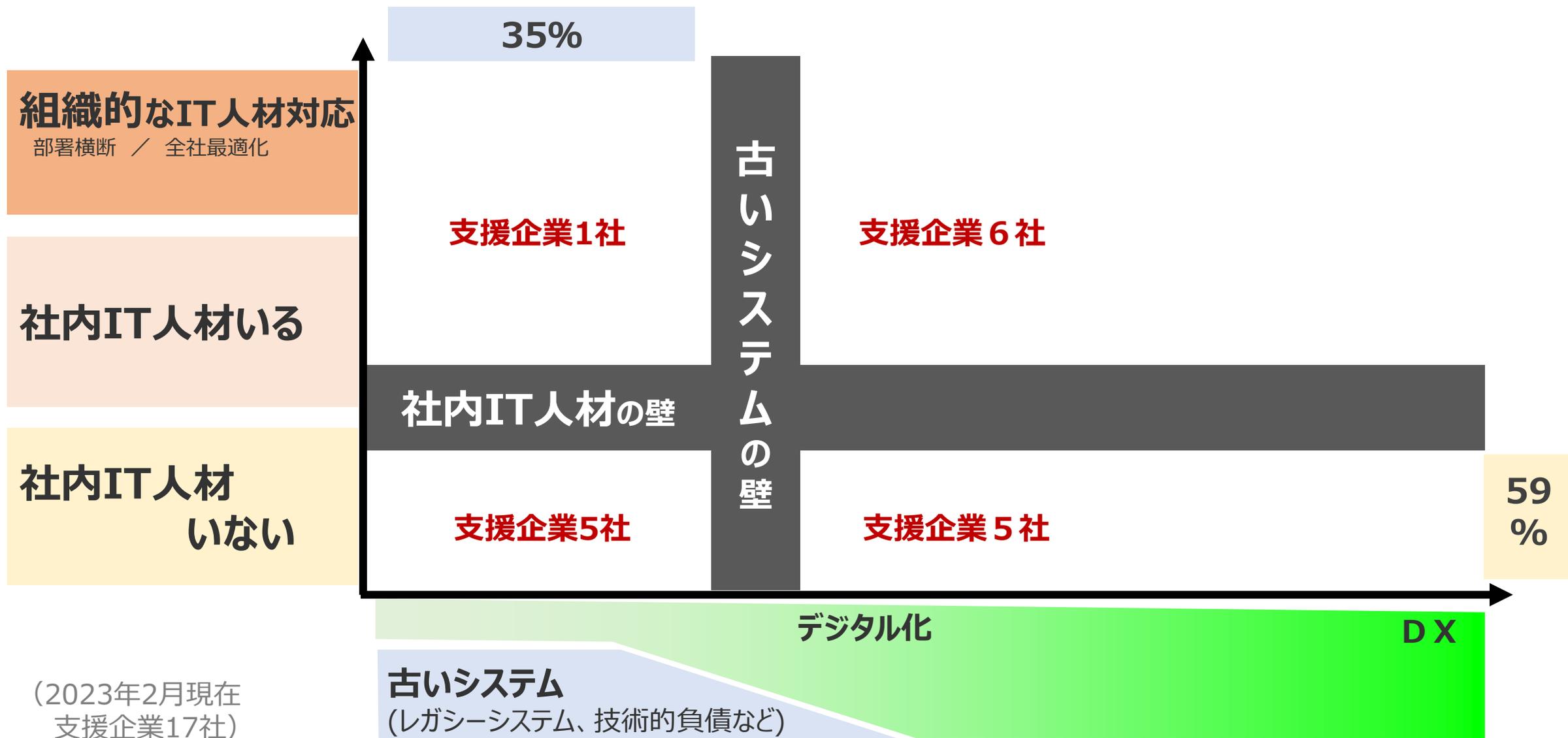


DX簡易コンサルティングの特徴

- ・デジタル化・DXに精通したIT系支援専門家が現地に赴いて、御社のデジタル化・DXの方向性を提案及び情報提供（伴走型支援）
- ・1企業あたり3回、無料



DX簡易コンサルティング支援した企業をマッピングしてみると



経営者は『古いシステム』の何に困っているのか？

【事象】

- ・システム費用の中で**運用・保守費**の割合が高い
- ・**機能追加費用**が高い、**開発期間**が長すぎる
- ・インターネット、クラウドサービス、スマホが使えない
- ・EXCELやACCESSが主体

【影響】

- ・守りのIT投資が多くなり、**攻めのIT投資ができない**
- ・**企業スピードをシステムが足を引っ張りやりたい事ができない**

中小企業の『社内IT人材』に必要なレベル(提案)

1. **社内業務を横断的に理解し、デジタルによる解決法**を見い出せる

会社の課題をITベンダーに伝える文書が作成できる（画面イメージ、業務フロー、業務仕様など）

2. ITベンダーと話ができ**提案内容を評価**できる “**目利き**” のような存在

ITシステムの機能が自社に当てはまるかを見定める、現場とITベンダー仲介役

3. **経営者の目線**で**IT化の要否を評価**できる

ITシステムの費用評価、費用対効果を作成でき、経営者が最終判断

中小企業のデジタル化・DXの取組に必要なこと(提案)

1. 社長の**“気づき”**

- ・我が社にデジタル化・DXが役に立ちそうだ、必要だ
- ・DXは技術ではなくビジネスを変える考え方、DXは目的達成の手段

2. 社内業務全体がわかる**“IT人材の育成”**

- ・ITベンダーだけでは御社のDXはできません
実際の業務を持つ人がITを使ってこそ価値

3. 社内IT人材レベルに応じた**“伴走型支援”**を受ける

- ・国や県などのDX支援事業を活用、信頼できるITパートナーを得る
(DX簡易コンサルティングは支援専門家による伴走型支援です)

DX簡易コンサルティングを受けた企業の声(アンケート結果)

電気機械製造業	<ul style="list-style-type: none">・商品説明や商談を前提としていないため、自社の具体的な課題を率直に相談することができた。・自社に合った取り組みを自信を持って進められる。
樹脂加工業	<ul style="list-style-type: none">・これまで漠然とした課題認識を持ちつつも、雲を掴むような状態であったが、改めて当社の課題に向き合うことができた。・DXの考え方、進め方、IT人材、技術的知識を知る機会となった。
金属加工製造業	<ul style="list-style-type: none">・DXという大枠に対して自社事業の課題の洗い出しができた。・攻めのDXという概念を始って新たな事業展開に活かしていきたい。

「東経連ビジネスセンターHP」の「支援メニュー」より
募集要項をご確認いただきお申し込みください。

<https://www.tokeiren-bc.jp/menu2.html#menu2-04>

4月スタート申込受付中



業 務	担当部署・連絡先
デジタル化・DX支援事業 「DX簡易コンサルティング」	東経連ビジネスセンター k-obara@tokeiren.or.jp 小原